

第三十二回夕暮記念こども短歌大会入賞歌 小学生の部

No.	賞名	作	品	学校名	学年	氏名
1	秦野市長賞	夏の星まねしてつくる三角はわたしの手より大きな世界		本町	4	三嶽 愛望
2	秦野市教育委員 会教育長賞	ピアノカの練習応えんせみの声みなで奏でる鼓笛隊なり		南が丘	5	豊田 愛美
3	秦野中ロータリー クラブ会長賞	ドライブで父といっしょにラブソング潮のにおいが流れてくるよ		鶴巻	5	飯塚 七海
4	寺尾登志子 選者賞	あついなつお天気なのにぬれた道しんきろうだとはじめてしまった		鶴巻	4	田辺 晴佳
5	寺尾登志子 選者賞	どうしてだこんな近くにあるのにさ手がピリピリとしびれてきたぜ		東小	5	山口 凜万
6	佳作	荷物持ちかけろうゆらぐ帰り道気持ち急くほど家路遠のく		鶴巻	5	篠木 まゆ
7	佳作	難しいショパンのワルツ弾く私じつと聴き入る愛犬次郎		鶴巻	6	岩本 愛花
8	佳作	スイレンの間に泳ぐメダカたちトンボ近づく秋の気配		広畑	6	黄木 慧冴
9	佳作	すいか食べすこしこわれた自転車でゆつくりくだるセミの鳴く道		北	6	石橋 侑大
10	佳作	夏休み普通に楽しむこの時間誰もわからぬこのシンプルさ		鶴巻	6	石野 光太
11	佳作	夏空に大きく咲いたあの花はぼくの心をぬすんでいった		鶴巻	6	高石 空太
12	佳作	反抗期親と喧嘩し腹が立つ優しい声で飼猫が鳴く		鶴巻	6	竹田 大志
13	佳作	夏になりセミの鳴き声聞きながらお茶のみながら和菓子をつ	グエン クオツクバアオ	鶴巻	6	
14	佳作	この好機おれが決めると気合い入れ打席に向かうとまさかの代打		本町	6	下橋 正弥
15	佳作	竿燈のゆれる大若勇ましくなまはげ様も豊作願う		堀川	5	檜山 瑠一
16	佳作	ガラスまど光あふれる金と銀一度は吹きたい金管楽器		東小	5	吉田 花奈子
17	佳作	雨キャンプたき火の炎見つめてる富士の姿をみんなで見たい		渋沢	4	田川 薫
18	佳作	十五夜はみんなが見てるはずかしいかくれんぼする月のうさぎ		本町	4	三嶽 苺香
19	佳作	葉の色が赤に黄色にころもがえわたしの服も入れかえようか		本町	4	高倉 日和
20	佳作	夏の朝野原にかおる金色の小麦のにおい心休まる		鶴巻	5	松沼 海椰
21	佳作	ひまわりが風にゆられておどつてるわたしもいれてたのしいおどり		南が丘	4	池内 京子
22	佳作	ねこたちがハシヤイでいて楽しそうさういうふうに思う日がある		鶴巻	4	藤岡 千智
23	佳作	水風船ぶると美肌の赤子かなぼくが放てば消えゆく命		大根	4	本多 良久
24	佳作	みなれてる風景の中ひとつだけみられないのはおおきな虹よ		西	6	豊岡 優里
25	佳作	どんどんと心にひびく夏花火川面にうつり静かに流る		南が丘	4	新里 七海